

事務事業名	防犯まちづくり推進事業	整理番号	24202-010
所管	くらしの安全課 相談・安全スタッフ		

●事務事業の位置付け

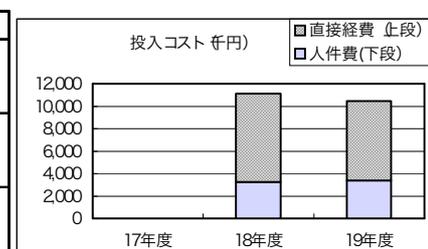
期間	平成18年度～平成年度	根拠法令・要綱等	御殿場市防犯まちづくり条例
基本計画における位置付け	基本政策 2-4 安全な暮らしの確保 政策 2-4-2 防犯体制の充実	関連政策	2-4-3 良好な生活環境の確保 5-1-1 市民参画の促進

●事務事業の内容

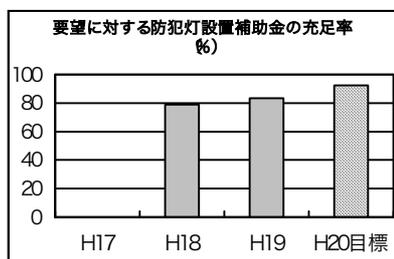
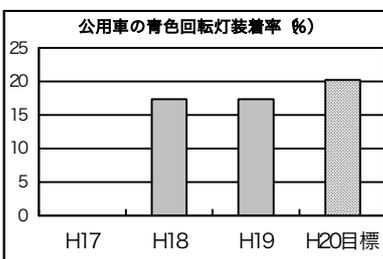
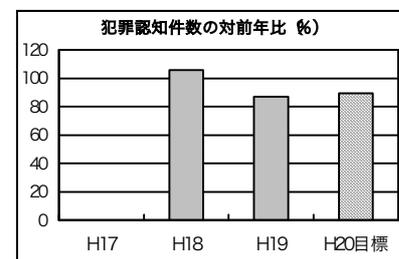
目的 (何のために)	市民の防犯意識を高めるための関係団体の運営費を負担し、市民防犯ボランティアの活動の推進を図るとともに、市として犯罪を未然に防ぐ施策を行うことを目的とする。
対象 (誰・何を)	全市民、市域の事務所、各区
手段 (どのようなやり方で)	①防犯灯などの防犯施設の整備を推進するため、設置に係る補助金を交付する。 ②公用車用青色回転灯や防犯意識の高揚のための啓発品を購入するとともに、防犯協会及び暴力追放推進協会への負担金を交付、防犯まちづくり推進協議会へ交付金を交付する。
成果 (どのような状態にしたいか)	防犯に対する意識の高揚が図れるとともに、犯罪件数の減少、特に市民が「住みやすく、安全・安心なまち」であることを体感できる。
事務事業の背景・住民の意向	小学校区を中心とした自主防犯組織が立ち上がり、各組織では地域に合った防犯活動を展開している。市でも青色回転灯を装着したパトロールを行うなど、防犯に対する意識が高まりつつある。また、区単独でパトロール隊を組織するという動きも見られた。
見直し改善の経過	

●事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績
平成17年度	
平成18年度	・防犯灯設置補助事業 ・青色回転灯を装着した公用車によるパトロールの実施 ・関係団体との協体制の強化
平成19年度	・防犯灯設置補助事業 ・青色回転灯を装着した公用車によるパトロールの実施 ・関係団体との協体制の強化



●評価指標



●事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)	コメント			
観点別評価	必要性	★★★★★	県内の年間犯罪認知件数は年々減少していますが、学校を通じた不審者出没の情報は後を断たない状況にあります。児童・生徒の安全を守るため、地域で住民が安心して生活を送れるようにするためにも、犯罪に対する意識を高め、防犯活動を更に推進していく必要があります。	今後の方向性
	有効性	★★★★★		
	効率性	★★★★★		
一次評価	A	★★★★★		継続
二次評価(行政評価委員会の評価)	コメント		今後の方向性	
二次評価	B	☆☆☆	先進地の情報収集等を行い、市全体に広がる防犯体制づくりへの取組みが必要である。	拡大

●改革プラン

平成20年度からの対応	防犯灯の整備や他団体との協力関係の充実については、引き続きその支援に努める。市としての防犯事業については、さらに充実を図り、青色回転灯装着公用車によるパトロールの継続、防犯教室なども開催していきたい。
平成21年度以降の対応	防犯灯の整備や他団体との協力関係の充実については、引き続きその支援に努める。市としての防犯事業については、さらに充実を図り、青色回転灯装着公用車によるパトロールの継続、防犯教室なども開催していきたい。
改革により予想される成果	防犯に対する職員の意識が高まり、他課との連携が図れるものと思われる。